



つくし保育園



ちゅうりっぷ保育園

学童クラブの運営が始まりました！

つくし保育園を設立して9年目を迎えた今年度、新たに「大池小学校放課後児童クラブ」を運営することになり、これで法人としての運営施設は4施設になりました。

学童クラブは、保育所とは違い、小学1年から6年生までの児童です。私も4月から夏まで学童クラブでお手伝いをさせていただきました。久しぶりに現場で子どもたちと向き合い、いっしょに宿題をやったり、遊んだりし、楽しい時間を過ごすことができました。とはいえ、昨年度までと違う法人運営になり、支援員もほとんど変わってしまった学童クラブです。利用している子どもから見れば、知らない支援員ばかり、今までと多少ルールが変わったりで、惑いは大きかったと思います。しかし、そこは学童です。話し合いを重ね、こちらの思いをしっかりと伝えること、工夫しての遊びを提案し、みんなで取り組む事などを経験する中で、少しずつ気持ちが伝わるようになってきたと思います。暑く長い夏休みも終わると、「夏休み楽しかった！」という子どもたちの声に「やっと心通わせることができるようになってきた」と、うれしい限りです。

さて、保育所、放課後児童クラブとも今ほど社会から注目されているところはないと思います。昨年度からあちらこちらで起きてきた保育施設での不適切保育。その原因はどこにあるのか、ただ保育士だけの力量の問題なのか、という問いかけから、全国の保育関係者からそもそも70年以上変わっていない配置基準に問題があるのではないか、という声が上がリ、改善を求める運動が起こってきました。伊東つくし会も市内の保育・教育団体で組織する「こども・教育連絡協議会」として伊東市議会3月議会へ「保育士の配置基準の抜本的な見直しを求める意見書」の陳情書を提出しました。陳情書は全会派一致で採択され、伊東市議会として国に向けて意見書を提出させることができました。

しかし、岸田首相は、突然「異次元の少子化対策」を打ち出し、その中で保育士の配置基準の改善と言いつつも「配置基準を見直す」ことまでの改善を行う様子はありません。このままでは今までと変わらない状況が続き、相変わらず保育士の負担が大きくなり、保育士の成り手は減少するばかりだと思います。いまこそ、保育所の最低基準を変え、保育園で働く職員も、他職種や企業で働く労働者と同じように生活できる賃金が保障される職場にぜひとも国が改善に務めてもらいたいと切に願ひ、全国の仲間とともに運動に取り組んでいきます。

理事長 平澤幸子

子育て支援センターつくしんぼ

〔 伊東ショッピングプラザ デュオ 1F 〕





つくし歳時

七夕



なっ



青空給食



遠足

プール・水あそび



茶摘み



芝生でゴロゴロ



子育て支援
親子でバランスボール



子育て支援 遠足



つくしこまつり



つくし保育園



「コロナ」以前の保育へ

2023年度が、スタートして間もなくコロナの対応が変わり「今年は例年通りの保育に戻るぞ！」と意気込んで保育や行事を行う中、やはり感染対策や行事の工夫は必須です。少しずつマスクも外れ、このコロナ禍に入園してきた子どもたちは、初めて見る保育士の顔に戸惑いながらも笑顔いっぱい保育士との信頼関係を築いています。

夏が過ぎ、水あそびやプールを存分に楽しんだ5歳児は、水中で目を開けることができるようになりました。こどもたちの楽しそうな笑い声が、コロナ禍の長い時間を取り戻してくれたような気がします。しかし残念ながら、コロナがなくなったわけではないので、感染拡大しないよう保育していきます。

また、開園して来年で10年を迎えます。開園から走り続けてきましたが、改めて「つくし保育園らしい保育ってどんな保育?・・・」と10年を振り返りながら、職員全員で保育を見つめ直していきたいと思います。

つくし保育園園長 澤井伊佐子

ちゅうりっぷ保育園



「コロナ」を超えて、その先へ

コロナ禍での生活も3年が過ぎました。5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、濃厚接触者の選定が不要になりました。日々の保育や行事を催す上では「よかった!」と言えるかもしれませんが、コロナウィルスが消えてなくなる限り感染対策しながらの保育は続いていくのだと思います。子どもたちとマスクなしで向き合えるようにしたいと願っていますが「安心・安全」を考えると職員はまだはずすことはできません。もう少し状況をみていきたいと思います。

令和5年度は園児17名からスタートし、現在は20名になりました。今年の夏は猛暑で熱中症警戒アラートが連日発令されたため、プールあそびはできても、水あそびを十分楽しむことができませんでした。年度後半は運動会、親子遠足などの行事を予定しています。「コロナ」と上手につきあいながら、こどもたちが戸外で元気に身体を動かし、「5感」を使ってのびのび活動できるように保護者のみなさんと共に見守り、応援していきます。

ちゅうりっぷ保育園園長 若原真奈美

子育て支援センターつくしんぼ



ショッピングプラザデュオにある子育て支援センターです

コロナ最近の「つくしんぼ」は0歳児の子どもとそのお母さんの利用が多くなってきています。生後2か月くらいから来所している子どもたちが、5か月～8か月になって寝返りをしたり少しずつ前に進むようになったりして、母さんたちと成長を喜び合えることがとても嬉しいです。

また2歳児のイヤイヤ期真っ最中の子どもを持つお母さんたちが、「イヤイヤ期あるある」の話題で共感しあい励ましあっている様子はとても微笑ましく感じます。子育ての悩みはたくさんあっても誰かに話すことで、少し心が軽くなって表情が明るくなってきます。お母さんにとっても子どもにとっても、楽しくて居心地の良い環境を作っていきたいと思います。

子育て支援センターつくしんぼ施設長 持田宏子

どこにも入園していない子どもさんと保護者の方、妊婦さんが無料で遊べるところです





大池小学校放課後児童クラブ



今年度4月から伊東市の委託を受け、大池小学校放課後児童クラブ「ひまわりクラブ」の運営が始まりました。

現在、1年生から6年生の児童、約90人の児童が在籍しています。大池小学校内にあり平日は、学校終了後から、19時まで開所しています。校庭や体育館でも遊ぶことができます。ドッチボールやサッカー・バスケットボール・野球など身体を使ったあそびをのびのびと、友達と一緒に楽しむことができます。毎月、誕生日会や季節に合わせた遊びなどにも取り組んでいます。またこの夏には、改修工事も完了し、トイレや流し・職員室などが新しくなり、子どもたちも喜んでいきます。

今まで保護者の皆様の大変な努力の中でこれまで運営されてきたことについて、敬意を表します。これから伊東つくし会がこれまでの運営や保育を継承しつつ、新たな学童クラブの形を子ども、保護者、支援員がより良い関係性を作りながら行っていきます。何よりも利用する子供たちが「学童クラブが楽しい!」「学童クラブに行きたい!」と思えるようなクラブづくりを目指していききたいと思います。

大池小学校放課後児童クラブ施設長 日吉めぐみ



改修工事了
トイレ・流し・職員
室



お散歩
竹林・一碧湖・林泉
寺



ス
8月誕生日会
は5年生が考えました
誕生日会
プレゼントはキャンディーネックレス



～あ・そ・び～
ミサンガづくり
母の日プレゼント
タッセルづくり
七夕飾り
水鉄砲づくり



夏休み
水遊び
看板づくり



INFORMATION

子育て支援センター
つくしんぼ



大池小学校放課後
児童クラブ



伊東つくし会
ホームページアドレス

<http://ito-tsukushikai.or.jp/tsukushi/>



苦情解決報告

2023年8月現在

意見・要望・苦情はありませんでした。